

主な内容

本会議の経過・議案等の概要と結果 … 2面
一般質問(代表・個人)(要旨) … 3~6面
委員会の活動状況 … 7面
新春を迎えての各会派の抱負 … 8面

発行/渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎03(3463)1096



渋谷区議会ホームページ
<https://shibukugi.tokyo/>



謹賀新年

渋谷区役所から望む富士山



議長
丸山 高司



副議長
治田 学



充実した日々を暮らせる街、人と人がつながる街・渋谷区

あけましておめでとうございます。

区民の皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から区政と区議会の活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年5月には、それまで社会生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症に移行いたしました。この移行とともに、本格的なアフターコロナの日常が訪れ、渋谷の駅周辺には、マスクを着用していない人や観光に訪れる外国人の姿も多く見受けられるようになりました。

この間培われた経験をもとにテレワークやDX(デジタルトランスフォーメーション)化など、近未来の産物と思われることが身近な出来事として飛躍的に進んできた一方、数年間、多くの方々が待ち望んでいた各団体の活動やイベント等がリアル開催されるようになり、改めて区民

の皆様と直接触れ合うコミュニケーションの大切さも実感する貴重な機会となりました。

新しい生活様式や渋谷駅周辺整備事業の進捗に伴う街の様相の変化など時代の移り変わりを感じますが、これまで育まれてきた地域や人と人をつなぐ親和性は、変わることなく、この渋谷区の次の世代を育て、地域の活性化やコミュニティの発展に大いに寄与してきたと思っています。

渋谷区議会は昨年、改選期を迎え、新たな構成メンバーとなりましたが、区民の皆様が「住み慣れた地域で、充実した日々を暮らせる街」を築き、「人と人がつながる街」を継続していくことは我々の変わらぬ使命と考え、本年も議員一同全力で活動してまいります。

区民の皆様にとりまして令和6年が、より良い年でありますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

総務委員会委員長
区民環境委員会委員長
文教委員会委員長
福祉保健委員会委員長
議会運営委員会委員長

中村 豪志
堀切 稔仁
神 菌 麻智子
沢 島 英 隆
一 柳 直 宏

自治権確立
特別委員会委員長
交通・公有地問題
特別委員会委員長
多様性社会推進
特別委員会委員長
官民連携事業調査
特別委員会委員長

五十嵐 千代子
橋 本 侑 樹
栗 谷 順 彦
岡 美千瑠

渋谷区子育て支援施設条例の一部を改正する条例、
令和5年度渋谷区一般会計補正予算などを可決

令和5年第4回定例会は、11月27日から12月12日までの16日間の会期で開かれました。11月27日から3日間の本会議では初日に2人の議員が、2日目には4人の議員がそれぞれ代表として一般質問を

行い、3日目には6人の議員が個人として一般質問を行いました。

11月29日の本会議では、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など条例7件を原案のとおり可決しました。

12月12日の本会議では、渋谷区子育て支援施設条例の一部を改正する条例など条例6件、補正予算2件、工事請負契約の一部変更1件を原案のとおり可決し、請願1件を採択、決議1件、意見書1件を決定しました。また、専決処分の報告1件を聴取し、請願1件を不採択としました。

令和5年 第4回定例会／議案等の概要と結果

件名	概要	自由民主党	立憲・国民	シブヤを笑顔にする会	公明党	日本共産党	維新の会	その他(議席番号順)	結果
								無所属	賛成 × 反対 × 欠席
渋谷区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う定義規定の整備及びその他引用条項の整備	○	○	○	○	×	○	○	可決
渋谷区手数料条例の一部を改正する条例	マンションの管理の適正化の推進に関する法律によるマンション管理計画認定申請手数料等の新設	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	防疫業務特別手当に係る規定の削除	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康保険法等の改正に伴う産前産後期間における国民健康保険料の免除制度創設に係る規定の整備	○	欠	○	○	○	○	○	可決
渋谷区子育て支援施設条例の一部を改正する条例	渋谷区富谷子育て支援センターの廃止	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区子ども発達相談センター条例の一部を改正する条例	1 保育所等訪問支援事業の追加等 2 その他規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区清掃及びリサイクルに関する条例の一部を改正する条例	有料粗大ごみ処理券に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度渋谷区一般会計補正予算(第6号)	補正金額 600,000千円 債務負担行為の補正	○	×	○	○	○	×	○	可決
工事請負契約の一部変更について	契約の件名 猿楽橋擁壁等更新工事請負契約 原契約金額 2,899,248,000円 変更後の契約金額 3,437,295,400円 契約の相手方 大成建設株式会社 東京支店	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	議員報酬の額の改定等	○	×	○	○	×	×	○	可決
渋谷区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	区長等の給料の額の改定等	○	×	○	○	×	×	○	可決
渋谷区教育委員会教育長の給与、旅費及び勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	教育長の給料の額の改定等	○	×	○	○	×	×	○	可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給料表の改定等	○	○	○	○	○	○	○	可決
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	会計年度任用職員の給与の支給に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給料表の改定等	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度渋谷区一般会計補正予算(第7号)	補正金額 2,132,409千円 繰越明許費の補正(追加)	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険料を引き上げないことを求める請願		×	○	×	×	○	×	○	不採択
区立小中学校の給食費の無償化を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	採択
パレスチナ・ガザ地区における人道的停戦を求める決議		○	○	○	○	○	○	○	決定
ふるさと納税制度の廃止を含めた抜本的な見直しを求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	決定
専決処分の報告について	文書返還請求訴訟の提起に係る専決処分 (指定管理者であった被告が、指定管理期間満了前に指定管理施設から持ち出した、当該施設の指定管理業務に係る情報が記載された文書の返還を求める訴えの提起)								

会派等一覧 令和5年12月1日現在 (◎幹事長/○副幹事長)

渋谷区議会自由民主党議員団(7人) TEL 03-3463-1034

- ◎一 柳 直 宏
- 中 村 豪 志
- 松 本 翔
- 岡 田 美 保
- 岡 美 千 瑠
- 斎 藤 竜 一
- 丸 山 高 司

立憲・国民渋谷議員団(6人) TEL 03-3463-1042

- ◎小 田 浩 美
- 増 田 洋 紀
- 佐々木 由 樹
- 桑水流 弓紀子
- 堀 切 稔 仁
- 治 田 学

シブヤを笑顔にする会(6人) TEL 03-3463-1046

- ◎伊 藤 毅 志
- 岡 田 麻 理
- 葉 丸 義 人
- 神 薊 麻 智 子
- 橋 本 侑 樹
- 田 中 匠 身

渋谷区議会公明党(5人) TEL 03-3463-1036

- ◎久 永 薫
- 栗 谷 順 彦
- 近 藤 順 子
- 吉 崎 い ず み
- 沢 島 英 隆

日本共産党渋谷区議会議員団(3人) TEL 03-3463-1038

- ◎田 中 正 也
- 五十嵐 千代子
- 牛 尾 真 己

日本維新の会渋谷区議団(3人) TEL 03-3463-1076

- ◎星 野 愛
- 太 田 真 也
- 久 世 恵 美

無所属(議席番号順)

- 矢ヶ崎 清 花
- 矢 野 桂 太
- 須 田 賢
- 鈴 木 建 邦

※議員名右上の二次元コードを読み込むと、各議員の質問の模様を録画映像でご覧いただけます。

一般質問(代表)

子育て・教育政策について等 7点を伺う



立憲・国民 桑水流 弓紀子 議員



子育て・教育政策について

問 ①妊婦検診補助見直しを。②ハッピーマザー助成増額を。③ハチ公バス妊婦無償化など移動支援検討を。④赤ちゃんブックスタートを。⑤ベビシッター利用支援補助を。⑥明石モデルおむつ支給を。⑦区施設でおむつの廃棄を。⑧地域交流センターのカラオケ使用条件見直しを。⑨送迎保育ステーション調査を。⑩スクールバスに安全装置を。⑪学校の防犯カメラ増設、電子錠化など安全強化を。⑫生理用品は校内トイレへ。⑬電子図書サービス導入を。⑭放課後の校庭開放で遊び場確保を。
区長 ①⑥⑨考えはない。②難しい。③判定区分について検討。④計画中。⑤総合的に検討。⑦今後の検討課題。⑧検討。⑩電子錠化を進める。
教育長 ⑩⑬検討。⑫実態に応じて運用。⑭確保に努める。

健康・福祉について

問 ①前立腺がん等メニュー増加を。②小児がん患者向けの支援を。③子宮頸がんワクチンは男性接種補助を国へ働きかけを。④おたふくかぜワクチン2回目助成を。⑤HIV無料検診予約枠の拡大を。⑥インフルエンザワクチン助成対象は高校3年生まで拡大を。⑦認知症支援に個人賠償責任保険事業を。⑧災害用非常電源装置の給付を。⑨エレベーターの利用状況改善に支援を。⑩障がい者手帳カード型の周知と電子化の推進を。

区長 ⑦⑧検討中。⑨⑩研究健康推進部長 ①③検討。⑤枠の拡大を計画。②④検討課題。⑥拡大しない。

防災について
問 ①災害時の支援体制強化と、行政書士団体との災害応援協定を。②町会掲示板のデジタル化検討と、スマートバス停の実証実験を。
区長 ①研究。②研究課題。

犯罪被害者支援について
問 被害者支援条例の制定を。

環境について
区長 制定する考えはない。

まちづくりについて
問 土地評価額も示さず、沿道地権者に廃道の説明もせず、同意も取らずに区役所前の区道を廃道にするのか。
区長 適正に進めていく。

渋谷の空の安全について
問 ①区長は国交省に何度働きかけをしたのか。②危険運航の報告は。③低空飛行ルート廃止のために他区長との連携を。④ヘリの苦情は何件か。
区長 ①回数や時期の記録無し。②報告を受け国交省に申し入れた。③しない。④12件。

区政運営について
問 ①基幹業務システム標準化やガバメントクラウド対応は。庁内DXの推進を。②行政サービスにAI活用を。③トイレ壁活用等効果的な発信工夫、区情報一元化やデータベース集積、二次利用配慮を。
区長 ①準備・検討を進める。デジタル技術活用で業務効率化や区民サービス向上を図る。②慎重にリスク対応し、最大効果を目指す。③より分かりやすく活用しやすい形を探求し効果的な情報発信に努める。

まちづくりについて
問 ①渋谷スクラステージで期待される成果は。②街並み再生地区(神南一丁目北・渋谷三丁目・道玄坂二丁目)計画推進は。③ネズミ対策は。④ごみ夜間収集を。⑤水道道路沿道まちづくりの未来像は。⑥沿道の都営住宅活用は。⑦日本伝統のベンチである縁台を区内各所に置く「ENGA WAPROJECT」の実施を。
区長 ①活気ある国際都市として成長の契機となることを

安全・安心について
問 ①町会等の防犯カメラ新設や保守管理に区の補助金交付制度の創設を。②危機管理対策におけるDXの活用を。③学校建て替え中の避難所体制と連携は。④避難所用品の

見直しを。⑤備蓄倉庫物資管理に専門家の知見を。⑥発災時の避難所等への物資供給や連携体制の構築を。⑦災害時要配慮者支援体制整備を。
区長 ①課題として受け止める。②機能や有効性等を検証し導入を検討。③仮校舎が避難所となる。円滑な避難所運営実現を支援。④使いやす/new用品へ買替えや導入を進める。⑤必要に応じて取り入れる。⑥関係団体等と密に連携し、協力関係と円滑な輸送体制構築に努める。⑦福祉避難所開設・運営訓練、マニュアルや個別避難計画見直しを推進。

表参道駅のエレベーター優先レーンの様子



縁台の様なちよつと腰掛けられる場を増やす「ENGA WAPROJECT」

成と集積地形成の支援は。
区長 ①利用状況等分析し設置を検討。②支援員を増員しポケットWiFi等の環境整備を検討。③ハード面の支援ではなく使い方のサポートを一層推進。④マナー違反行為を禁止を啓発する統一ピクトグラムの活用も視野に、SNS等による国内外への発信や安全対策を強化する。⑤パトロールの効果等を見極めつつ条例改正も含め効果的施策を検討。⑥取締指導を徹底しつつ宿泊者へのマナー啓発に多言語の注意事項を提供。⑦メニューの多言語化推進等外国人の満足度向上につながる取組を検討。⑧実証実験事業と絡めた活用を研究。⑨育成支援を継続。部署間連携を強化しLABO設立を検討。

福祉について
問 ①敬老金贈呈事業の見直しは。②高齢者見守りの強化を。③介護現場支援は。④自宅介護者支援は。⑤多世代交流の場整備と社会参加促進を。⑥女性のライフプラン支援を。
区長 ①議論を重ねより良い制度設計を目指す。②DXや地域資源を活用し地域全体で見守る仕組み構築。③ICT機器導入等による負担軽減や人材確保を図る。④介護者の気持ちに寄り添いながら必要な支援を継続。⑤多世代交流カフェや地域活動等参加時のハチペイポイント付与を検討。⑥講演会や情報交換会を検討し長期的な意識形成を図る。

行政運営について
問 副区長担当事業の展望は。

用語解説 ※オルタナティブ教育 ※リカレント教育 ※仕事に必要な知識・技能習得が目的の教育。

行政運営について
問 副区長担当事業の展望は。

安全・安心、区政運営、まちづくり等6点について伺う
自由民主党 岡 美千瑠 議員



問 ①「渋谷スクラステージ」で期待される成果は。②街並み再生地区(神南一丁目北・渋谷三丁目・道玄坂二丁目)計画推進は。③ネズミ対策は。④ごみ夜間収集を。⑤水道道路沿道まちづくりの未来像は。⑥沿道の都営住宅活用は。⑦日本伝統のベンチである縁台を区内各所に置く「ENGA WAPROJECT」の実施を。
区長 ①活気ある国際都市として成長の契機となることを



縁台の様なちよつと腰掛けられる場を増やす「ENGA WAPROJECT」

成と集積地形成の支援は。
区長 ①利用状況等分析し設置を検討。②支援員を増員しポケットWiFi等の環境整備を検討。③ハード面の支援ではなく使い方のサポートを一層推進。④マナー違反行為を禁止を啓発する統一ピクトグラムの活用も視野に、SNS等による国内外への発信や安全対策を強化する。⑤パトロールの効果等を見極めつつ条例改正も含め効果的施策を検討。⑥取締指導を徹底しつつ宿泊者へのマナー啓発に多言語の注意事項を提供。⑦メニューの多言語化推進等外国人の満足度向上につながる取組を検討。⑧実証実験事業と絡めた活用を研究。⑨育成支援を継続。部署間連携を強化しLABO設立を検討。

福祉について
問 ①敬老金贈呈事業の見直しは。②高齢者見守りの強化を。③介護現場支援は。④自宅介護者支援は。⑤多世代交流の場整備と社会参加促進を。⑥女性のライフプラン支援を。
区長 ①議論を重ねより良い制度設計を目指す。②DXや地域資源を活用し地域全体で見守る仕組み構築。③ICT機器導入等による負担軽減や人材確保を図る。④介護者の気持ちに寄り添いながら必要な支援を継続。⑤多世代交流カフェや地域活動等参加時のハチペイポイント付与を検討。⑥講演会や情報交換会を検討し長期的な意識形成を図る。

行政運営について
問 副区長担当事業の展望は。

用語解説 ※オルタナティブ教育 ※リカレント教育 ※仕事に必要な知識・技能習得が目的の教育。

行政運営について
問 副区長担当事業の展望は。

行政運営について
問 副区長担当事業の展望は。

副区長 固定観念にとらわれず民間での経験をいかし最先端の取組を継続していきたい。

防災・安全・環境・エネルギー

問 ①一年一回の避難所運営訓練を。②マンションの防災組織設置の支援を。③ハロウィン対策の成果は。近隣区と連携を。④住居地域の公道カーポート営業に規制を。⑤環境基本計画の取組は。⑥落書き対策プロジェクトの展開は。

空間とコミュニティデザイン

問 ①水道道路沿道公園整備方針は。②地域交流スペース「あつまると」の周知を。都の事業と連携し、新たな可能性創出を。物販の許可を。③シニア向けモビリティポートの検証を。④ボール遊び可能な公園設置を。

産業振興・文化エンターテインメント分野について

問 ①ハチポの活用促進を。②ソーシャルイノベーションウィークの評価は。③SNSを活用した活動紹介も検討。④新たなアクションにつながることを期待。

福祉分野について

問 ①オレンジカフェ支援と

認知症サポーターの活躍の場の拡充を。②福祉従事者の環境や制度改善を。③シブカツのITスキル講座受講者に仕事のあつせんを。④SSAP大学で障がい者・児の移動支援ヘルパー研修の実施を。

子育て支援分野について

問 ①認可園空き定員対策は。②保育園情報整備や広報強化支援は。③ベビーシッター一時預かり利用支援事業導入を。

教育分野について

問 ①施設の有効利用策、廃止園転用等検討。②広報強化は必要と認識。周知の手段について検討。③保育に関する施策全体を総合的に検討。

不登校支援に関して提案

問 ①オレンジカフェ支援と

スペシャルサポートルームの全校設置
保護者同士の情報交換の場を提供
スペシャルサポートルーム
学校内に教室以外の別室の居場所を作る

問 ①区立中の特色化見直しは。②代々木中の不登校対応加配教員配置事業の成果は。スペシャルサポートルーム小中全校配置を。③不登校児童生徒保護者に情報交換の場を。

区政運営について

問 ①SOGIE指針の研修拡大、困難ケースに対する体制づくりは。②職員向けワークショップデザインナー研修を。

物価高騰対策等7点について

問 ①住民税非課税世帯への給付金は、できる限り早く対象者に届くよう取組を。②ハチペイキャンペーンの第3弾実施と区民利用の多い店舗の対象拡大を。サービスを持続可能にするためのハチペイの運営について所見を。

福祉等について

問 ①お悔やみ相談窓口開設にあたっては幅広い業務に対応を。「渋谷区版おくやみガイド専用相談サイト」の立上げを。②社会福祉協議会等と連携し終活サポート事業の創設を。③認知症理解の普及啓発に関し、明年以降の実施について所見を。「注文を間違えてもいい料理店」の今後の展開について所見を。④フレイル予防フェア及びキャラバンは、内容の更なる充実と開催場所・回数の拡充を。⑤高齢者補聴器購入費助成のその後検討状況は。「渋谷区版・補聴器手帳」の作成・配付を。

物価高騰対策等7点について
同
公明党
沢島 英隆 議員

チペイデジタル商品券を実施予定、加盟店は地域の中小の店舗を中心に拡大を図る。大規模店舗などに決済手数料を負担してもらうことを検討。

安全対策について

問 ①ハチパトの台数は3台体制から増車を。②安全安心パトロールは、渋谷駅周辺の巡回地域の拡充と、渋谷駅以外の駅に拡充を。③路上飲酒には、条例改正して指導の強化を。④来年度以降も防犯カメラの増設を継続し、早急にネットワーク型に切替えを。

健康推進等について

問 ①受診率向上のため、区の特定検診へ骨粗しょう症検査追加を。②専門医師による更年期障害を主体としたセミナー開催の進捗状況は。女性専用窓口設置のため、日本赤十字社医療センターとの連携など様々な手法の検討を。③区民向けゲートキーパー養成講座の回数を増やすことに加え、更に積極的に周知啓発を。

環境対策について

問 ネズミ対策について、専門家・駆除業者等からの知見を取り入れ、区として取組を是非強化していただきたい。

交通政策について

問 ①区内全域において自転車、自動二輪車等駐車場の更なる増設を。民間の自転車、自動二輪車等駐車場についても区として広く周知を。②車両や歩行者の妨げになっている、文化総合センター大和田裏の無料駐輪場の整備を。

渋谷のゴミ問題等3点について

問 ①渋谷を「きれいな街」にするため、街に啓発メッセージを。対処法ではない根本的な施策はあるか。②繁華街や駅前ゴミ箱の設置を。③先進的で画期的な、ゴミ箱にアートを融合させることへの見解は。④グリストラップの清掃とピット管理強化への考えは。⑤区が率先して生ゴミ問題に取り組むべきでは。

ハチペイ Hachi Pay
デジタル地域通貨ハチペイ

問 ①新しいいけやき教室は文化総合センター大和田の様々な施設・資源の有効活用を。②給食費無償化において区立、都立特別支援学校、国公立、私立学校を対象にした支援を。

子育て支援・教育について

問 ①新しいいけやき教室は文化総合センター大和田の様々な施設・資源の有効活用を。②給食費無償化において区立、都立特別支援学校、国公立、私立学校を対象にした支援を。③区立小中学校に加え、特別支援学校に通う児童・生徒も含める方向で検討。

子育て支援・教育について

問 ①今年明けに多言語対応の喫煙マナーフラッグ掲出を予定。来街者に「きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例」を守っていただくことが必要。②区のごみ対策は、来街者の意識改革と行動変容を促すこと。③渋谷の魅力を一層高めると思う。④講習会や立入検査などを行っており、今後は更に注意指導を強化。⑤区民・事業者・区が一体となり生ごみのリサイクルを進める。

渋谷のゴミ問題等3点について

問 ①渋谷を「きれいな街」にするため、街に啓発メッセージを。対処法ではない根本的な施策はあるか。②繁華街や駅前ゴミ箱の設置を。③先進的で画期的な、ゴミ箱にアートを融合させることへの見解は。④グリストラップの清掃とピット管理強化への考えは。⑤区が率先して生ゴミ問題に取り組むべきでは。

渋谷のゴミ問題等3点について
同
維新の会
久世 恵美 議員

ハチペイ Hachi Pay
デジタル地域通貨ハチペイ



△IoTスマートゴミ箱SmaGO

見守りの充実について

①地域包括支援センター職員へ十分な台数の携帯電話支給を。②民間事業者との連携について見解を。③デジタルツール活用の取組は。④高齢者のシェアハウスの増設を。⑤業務実態を踏まえ必要性を見極める。⑥見守りのネットワークづくりとともに配食サービスの対象者拡充を図る。⑦最新技術を活用したサービス導入の検討を進める。⑧選択肢の一つとして検討。

中学生の教育について

①「金融教育」の取り入れを。②キャリアアトラレニングの導入を。③海外修学旅行の実施検討を。④英語の授業ではイングリッシュニューームで呼び合っているかがか。⑤「従軍慰安婦」「強制連行」は政府見解として修正されたが、教科書の訂正は徹底されたか。⑥全員が海外に行く必要があるとは考えていない。⑦ゲストティーチャーを招いた授業実施を検討。

②シブヤ未来科の中でキャリア教育実施。④相手を尊重した呼び方や言葉遣いを指導しているのになじまない。⑤「従軍」「強制連行」の用語は使われておらず訂正してない。用語解説 ※グリストラップは業務用の厨房に設置が義務付けられている「油脂分離阻集器」のこと。用語解説 ※キャリアアトラレニングは自分の価値観に基づいて人生設計をする能力を養うトレーニングのこと。

区民のくらしを守る物価対策、住民本位のまちづくりを



日本共産党 牛尾 真己 議員



都心低空飛行の撤回を求める

①区長はガザ攻撃中止の発信を。②トルコ航空機の異常飛行があった。都心上空飛行ルートの中止を求めよ。③その考えはない。

住民不在の都市計画見直しを

①厳しい区民生活の認識は。②区独自の給付金、中小事業者支援、プレミアム付き商品券、若者と子育て世帯家賃補助等物価対策を。③玉川上水旧水路緑道整備でパークPFI導入は。④ファームの面積は。⑤100億円投入の



▷廃止予定の区道(左は神南小学校)

国民健康保険料の引下げを

①国保料は国の負担割合増を求め、区も保険料を引下げ、子どもの均等割は無料に。②特別区長会で求める。

35人学級と保育士の増員を

①教員の未配置、未充足数は。②35人学級を実施し、30人を目指し国・都に要望を。③就学援助拡充を。④奨学資金制度拡大を。⑤給食無償化は、私立・国立・都立学校も対象に。⑥スポーツセンター仮設校舎にグラウンド確保を。

⑦小中一貫校化による統廃合中止を。⑧リファイニング建築手法も選択肢に。⑨広尾中新校舎の教室数は。図書館複合化をやめ単独施設に。渋谷図書館は元の場所再開を。⑩保育士配置基準見直しと処遇改善を国に求め、区も保育士配置増と手当等支給を。⑪その考えはない。⑫スポーツセンター利用団体と共用。

アセスメントと情報の公開の徹底について伺う



立憲・国民 堀切 稔仁 議員



区民分断と隠蔽を呼ぶ玉川上水旧水路緑道改良問題について

①区と(株)ランドスケープ研究所との玉川上水旧水路緑道実施計画委託契約(その3)と地盤調査作業計画の中にはトイレ4棟、管理棟1基、倉庫1棟、階段テラスが2基設置されるとあるが、何本の樹木を伐採する予定か。カフェとファームは6ブロック中何か所を考え、樹木の伐採も行うのか。②重量物を造るのに検査している6ブロックの何

⑦引き続き推進。⑧総合的に判断。⑨教室等は準備委員会検討中。図書館との複合化で相乗効果発揮するよう整備。⑩11月1日時点で2件。8月に生じ現在も未配置。⑪区独自実施の考えはない。用語解説 ※リファイニング建築は構造躯体の約8割を再利用して建て替える6〜7割のコストで再生する手法。

か所で樹木は切るのか。重量物ができるのは限られると思う。カフェなどは数で示すべき。重量物を乗せられる場所は、何か所あるか。③近隣の側道に住む方を中心に、トイレやカフェ、ファームなど、新規に施設を設置予定の場合、住民説明と協議が必要。区長のアセスメントの考え方は。玄関開けたら、緑道を通らないと生活できない方が、木が伐採され、土日は朝からファームやカフェに人がいる環境は耐え難い。協議するべき。「あなた方」なんていう言い方をして、そういうことじゃない。区民の皆さんに「あなた方」も何もない。住民にとって本当深刻な問題である。区長と部長と課長で、膝と膝を突き合わせて徹底的に説明すべき。アセスメントはやる気があるか。樹木は一本も切らないでいただきたい。①樹木の伐採本数については、現在設計を進めている中で、精査中。先生はあなたたちがおっしゃっているように百何十本の木を全部切るなどか、そういうことは言っていない。宣伝の材料に使われているように感じる。②トイレ、農園などの配置や、それに伴う樹木への影響などに

都市交流、ふるさと納税、資源回収等4点について伺う



シブヤ笑顔 薬丸 義人 議員



都市交流について

①職員の交通費予算充実を。②高知市と協定を。③海外都市との展望は。④特産品などの展示スペース見直しを。⑤ハワイ州ホノルル市、ペルーのミラフローレス区と協定を準備中。

ふるさと納税について

①本年度の区民税流出額見込みは。②総務省に意見は。③約45億円。④区長会で抜本的見直しを強く要望。

資源回収について

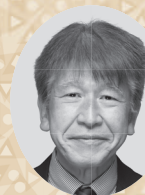
①雑がみ分別回収を。②生ごみ処理機購入助成周知を。③個別ジャンル化検討。④リサイクルバザー等で周知。

ペット防災について

①ペット特化の防災教室を。②協定団体との開催検討。

⑦引き続き、具体化していく。⑧引き続き、広報誌や区ウェブサイトで発信、ササハタハツ会議や地域への説明などの機会を通して、区民の皆様に分かりやすくお伝えする。

高齢者福祉、障がい者福祉の充実、ジェンダー平等推進を



日本共産党 田中 正也 議員



高齢者福祉と介護保険について

①第9期計画の介護保険料は据置きを。②介護職員賃金引上げを。③地域包括支援センター職員増員を。④港区のように支援が届かない高齢者への訪問支援の調査検討を。⑤認知症条例制定を。認知症グループホーム増設を。⑥特養ホーム増設を。代々木の国有地と幡ヶ谷の都営住宅跡地の早期交渉を。⑦敬老祝い金1万円現金給付の継続を。⑧負担能力に応じ設定。⑨考えはない。⑩体制強化を検討。⑪必要はない。⑫制定しない。需要を見極め検討。⑬着実に増設。国に申し入れ、都とは今後。⑭課題に理解を。ジェンダー平等、障がい者福祉施策について

ジェンダー平等、障がい者福祉施策について

①ファミリーシップ証明導入を。②会計年度任用職員の賃金引上げを。③障がい者福祉サービスの応益負担廃止を国に求め、子どもは無料に。④視覚障がい者のスマホ補助装置「リポ2」の補助を。⑤慎重に研究。⑥適正

に定める。③その考えはない。
④検討を進める。

用語解説 ※リボ2(Riv
o2)は視覚障害者がスマー
トフォンを簡単に操作できる
よう設計された携帯型のテン
キーボード。

旧玉川上水緑道の再整備、教 育長について等4点を伺う



須田 賢 議員



保育について

問 都の補助金を利用して区もベビーシッター利用助成を。
区長 保育に関する施策を総合的に検討する中で考える。

渋谷駅周辺について

問 今年のカウントダウンや来年以降の取組は。事故防止のためハチパトを活用して警察と連携する仕組みの構築を。
区長 関係機関と対策を検討。引き続き緊密な連携に努める。

旧玉川上水緑道再整備について

問 緑道に茶畑を設置する構想に賛同か。田根剛氏、プラ
ンテイオは外部発信を控える
か再委託先から外れるべき。
区長 全体を茶畑に造り変える構想ではないと聞いている。区から正しい情報を発信する。

教育長について

問 渋谷区の教育長という重責を担う就任は適切だったか。6月18日のシンポジウムは教育長という肩書で出席か。町田市の問題での報道は事実か。
教育長 現在、第三者委員会の報告書が作られている最中。そのときにしっかりと述べていきたいと思う。

羽田空港への新飛行経路等3 点について伺う



維新の会
星野 愛 議員



羽田空港への新飛行経路

問 ①航空会社事故対策マニュアルの「地上犠牲者」項目をどう考えるか。②固定化回避に係る検討会途中経過等は、区民向け情報提供を国交省に要望を。③新経路着陸やり直し等運用実績は、地域住民への説明機会を国交省に要望を。
区長 ①事故対策マニュアル整備は必要。②要望の考えはない。③求める考えはない。

交通政策について

問 ①LINEの放置自転車通報機能の周知を。景観に配慮した駐輪禁止看板の展開は。②電動キックボード安全対策等周知と啓発を。スケアードストリート方式交通安全教室に電動キックボードの追加を。

区長 ①システムを改善。恵比寿、代官山、笹塚、幡ヶ谷地区等に設置。②交通安全教室やイベント実施。ルールや安全対策の解説を追加で調整。

パラスポーツについて

問 ①日常的な関わり合いとしてのスポーツ交流の取組は。②パラスポーツを通じてのインクルーシブ教育への体制は。
区長 ①交流や気づきを生む事業に積極的に取り組む。
教育長 ②スポーツ部と連携しインクルーシブ教育を推進。

副区長交代の影響、時代にあ わせた区政改善について



鈴木 建邦 議員



区政課題について

問 ①官民連携やDX推進の決意を。②法務部門の強化を。③ハロウィーンは住民保護の観点で成功。継続を。④容積率緩和の建て替えは次に同様の手法が取りづらいため。⑤フリースクールとの連携、利用料補助は。⑥区役所前区道の廃道は事前に説明を。⑦ラーニングコモンズのある学校の生徒から「図書館に話しながら読めるスペースが欲しい」とあり、確保すべき。⑧男性HPVワクチン接種支援

は。⑨RSウイルス対策は。
区長 ①組織一丸となって着実に進める。②松澤副区長には法務面から区政運営全体への支援を期待。③来年度以降も街の状況など踏まえ、外国人観光客への情報提供の時期や内容を検討。④検討の必要がある課題と認識。⑤区議会へ適宜報告する。⑥音が漏れないようエリア区分が可能な図書館から検討。⑧国の定期接種化の動向を見ながら助成を検討。⑨保育施設、高齢者施設等に注意喚起を行う。

教育長 ⑤連携し学習状況共有。補助は提案として受ける。

用語解説 ※ラーニングコモンズは図書館に学習や交流の場の機能を備え、個人やグループ学習にも対応した空間。

議会情報公開・個人情報保護実施状況

情報公開関係(令和5年11月1日～11月30日)

請求件数	1件
文書件数	1件
公開件数	1件
非公開件数(不存在)	0件

個人情報保護関係(令和5年11月1日～11月30日)

請求件数	0件
------	----

パレスチナ・ガザ地区における人道的停戦を求める決議

10月7日にはじまったハマスによる無差別攻撃に対するイスラエルの大規模攻撃により、パレスチナ・ガザ地区は人命が深刻な危機にさらされ、市街地に甚大な被害をもたらしている。ガザ地区ではすでに1万5千人以上が犠牲となり、その7割が女性と子どもだと伝えられている。

国連では、10月27日国連総会緊急特別会合での「人道的停戦」を求める決議に続いて、11月16日には安全保障理事会で「人道目的での戦闘休止」を求める決議が採択された。11月24日から双方の人質解放を条件に休戦が実施されたが、再びイスラエルの大規模攻撃が始まっている。これ以上の犠牲と被害の拡大は絶対に避けなければならない。

よって、渋谷区議会は、休戦を持続的な停戦とし人質を即時解放すること、国際法・国際人道法を順守し人命を守るとともに、支援物資の供給を通じて人道状況を改善することを、日本政府をはじめとする国際社会が一致して努力することを強く求める。

以上、決議する。

令和5年12月12日

渋谷区議会

ふるさと納税制度の廃止を含めた抜本的な見直しを求める意見書

「税源偏在是正」の名のもと、東京23区ではふるさと納税により貴重な財源が奪われ続けている。特別区全体の影響額は令和5年度で約830億円、平成27年度からの累計額で3,600億円を超える。本区でも、令和元年度から令和4年度までに区民税が100億円以上流出し、令和5年度には45億円の流出が見込まれており、財政運営に支障をきたしている。

地方交付税の交付団体では歳入の減少に対し、その75%が補填されるが、不交付団体である東京23区や一部の自治体に補填はなく、地域福祉や都市として必要な役割の維持に深刻な影響を与えている。

特別区では、高度経済成長期に急増した公共施設の改築や首都直下地震への備えが急務である。実際に本区でも、小中学校等区有施設の建て替えは喫緊の課題であり、財政的に余裕がある状況ではなく、これ以上のふるさと納税による区民税の過剰な流出は看過できない。

よって渋谷区議会は、国会及び政府に対し、地域福祉と地方自治の責務を果たすため、本来の目的から乖離したふるさと納税制度については、廃止を含めた抜本の見直しを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月12日

渋谷区議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
総務大臣
財務大臣
あて

お知らせ

- 所属会派の変更
(令和5年11月30日)
・「立憲・国民渋谷議員団」から無所属
矢ヶ崎 清 花 議員
・「立憲・国民渋谷議員団」所属議員7人から6人
- 議席番号の変更
(12月12日)
・桑水流 弓紀子 議員
5番から7番
・増田 洋 紀 議員
7番から5番

議員の年賀状等は 廃止しています

渋谷区議会では、「虚礼等廃止に関する決議」を行い、区議会議員の年賀状・寒中見舞いなどの挨拶状は廃止しております。この紙面を借りて、ご挨拶に代えさせていただきます。区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



*質問・答弁は要旨を掲載しています。

詳しい内容は、区議会ホームページまたは会議録(2月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は区政資料コーナー、区立図書館でご覧になれます。

委員会の活動状況

常任委員会

総務委員会

▼区民相談の受付方法変更、並びにコールセンターのリリース(再構築)について報告を受けました。1か月前から相談予約できる仕組みや、ワンストップで相談に対応できるコールセンターを目指す等、デジタル技術の導入を区民の利便性と満足度の向上につなげるよう要望しました。

▼株式会社ニューバランスジャパンとのシブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定締結について、報告を聴取しました。本協定に基づきスポーツ、健康増進、次世代育成、災害対策等の分野で同社と協力して、効果的に事業を推進するよう要望しました。

▼令和5年給与報告等の状況について、公民較差等に基づき、特別区人事委員会が給与の引上げ等の勧告を行ったとの報告を受けました。

区民環境委員会

▼借上げ高齢者住宅2件について、当初の契約期間が終了し、入居者の移転先も確保されたことから借上げ契約を終了するとの報告がありました。高齢者が住み慣れたまちに住み続けられるよう引き続き住宅を確保する施策を講じるよう要望しました。

▼渋谷サクラステージ(渋谷



△渋谷サクラステージ視察

文教委員会

▼第2次渋谷区子ども読書活動推進計画について報告を受けました。区有施設に本を配置し、その場で貸出しや返却を可能にする等、本に触れ合う機会を増やすことを求めました。特に不読率の高い高校

駅桜丘口地区第一種市街地再開発事業)の概要について報告を受け、現地を視察しました。渋谷駅周辺の歩行者通路の充実など利便性の向上に期待する等の意見がありました。

▼第46回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバルの実施について報告を受けました。委員からはコロナ禍前のように区民文化祭を同時開催するなど、更なる区民の参加を促すよう努められたい等の意見がありました。

令和5年10月21日(令和5年12月12日)

生世代に対しては、関心の高い人気の蔵書を増やし、図書館ホームページに世代向けの新たなカテゴリーを設けて、本に興味を持てるよう工夫することを要望しました。

▼令和4年度評価対象の「渋谷区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書」の報告を受けました。今後も、子どもたちが自ら学び創造できる、未来の学校の実現に向けて取り組むよう要望しました。

▼神宮前5丁目の仮設校舎建設予定地を視察し、敷地や現場の状況等を確認しました。

福祉保健委員会

▼特別養護老人ホームの入所希望者数について報告を受けました。希望者の入所にあたり、きめ細やかに対応するよう要望しました。

▼超福祉の学校@SHIBU



△特別養護老人ホーム「かなみの杜・渋谷」

YAについて報告を受けました。シンポジウムの内容や自主製品販売会の実施状況を聴取しました。

▼敬老金贈呈事業に関する現状と課題について報告を受けました。高齢者の見守りについては今後も精査を重ねるよう求めたほか、民生委員の意

議会運営委員会

▼11月27日、第4回渋谷区議会定例会が招集されました。当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、産前産後期間における国民健康保険料の免除制度創設に係る渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例など条例7件、ふるさと納税事務及び地域経済活性化事業に係る一般会計補正予算1件、工事請負契約の一部変更1件、

特別委員会

自治権確立特別委員会

▼3月に建て替えが完了した目黒清掃工場を視察しました。新工場では、周辺環境と調和するデザインが採用され、最新のごみ焼却技術を持つ設備が導入されました。具体的には、①建物の階段状化で高さや圧迫感を抑制、②構内の覆蓋・防音壁設置により防音を強化、③場内の空気の焼却炉加熱やエアアーターン設置で防臭、④ろ過式集じん機、活性炭、消石灰、水、薬剤、触媒

見を丁寧に聴取し、事業の改善に努めるよう要請しました。

▼渋谷区自殺対策計画改定、及び渋谷区健康増進計画改定に伴うパブリックコメントの実施について報告を受けました。専門用語に注釈をつけるなど、わかりやすい説明に留意するよう求めました。

専決処分報告1件、また、追加議案として職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など条例6件、物価高騰緊急支援給付金給付事業に係る一般会計補正予算1件を提出するとの説明がありました。

▼当委員会では、この説明を踏まえ、定例会の会期及び日程について協議し、会期を12月12日までの16日間とすることを決定しました。

交通・公有地問題特別委員会

▼11月8日に「区内の交通問題に係る懇談会」を渋谷・原

宿・代々木の3警察署及び各交通安全協会関係者と開催しました。まず警察側から、秋の交通安全運動期間中における取組と交通事故発生状況について報告があり、区内での交通事故件数は昨年と同じ17件で、死亡事故は0件とのことでした。次に委員から、電動キックボードや自転車の安全対策、交差点の道路標識の改善、横断歩道の設置等に関する要望を伝えました。

▼株式会社ニアミーとマッチング交通についての懇談会を実施しました。渋滞の解消や環境問題、既存資源活用等の観点からAIを活用して1台の車を複数組で利用するライドプリーングや大田区でのデマンド型交通の実証実験について意見交換を行いました。



△株式会社NearMeとの懇談会の様子

官民連携事業調査特別委員会

▼11月14日、スマートバス停を活用した官民連携事業について(株)YEデジタルとの懇談会を開催しました。見やすいデジタル時刻表の表示や運行状況把握だけでなく、観光情報や自治体情報等のオープンデータと連携することで、まちづくりやインバウンド対策の観点からも活用ができることを確認しました。

▼12月6日、シブヤスタートアップサポートの新拠点を視察しました。コワーキングスペースやネットワーキングイベントで活用する屋上を視察後、採択されたスタートアップ起業家と懇談し意見交換を行いました。ビザの発給等環境整備や事業展開をサポートし、多様なコミュニティが生まれる場として渋谷区を中心とした産業振興に繋げて欲しいといった意見がありました。

多様性社会推進特別委員会

▼認定NPO法人ReBitが運営する就労移行支援事業所であるダイバーシティキャリアセンターを視察しました。

構成人数が
3人以上の会派

新春を迎えての各会派の抱負

渋谷区議会自由民主党議員団

「安心して住み続けられるまち・渋谷」構築のため
本年も区政の諸課題に全力で取り組みます

あけましておめでとうございます。日頃より区民の皆様から温かいご支援・ご指導を賜り、心より御礼申し上げます。
昨年は長引く物価高騰が日々の暮らしに大きな影響を与えた一年となりました。本区では住民税非課税世帯等への各種支援や区内福祉施設へ光熱水費、区立小中学校へ食材費の助成を行ったほか、デジタル地域通貨「ハチペイ」による経済支援等、物価高騰対策を進めました。「ハチペイ」では本年2月にプレミアム率50%のデジタル商品券キャンペーンを行うなど、今後も活用を推進します。
福祉では、区役所2階および文化総合センター大和田9階に「福祉なんでも相談窓口」を設置したほか、区内各地で「なんでもスマホ相談」を開催するなど、相談事業を拡充します。子育て・教育では、ICT教育や主体的に課題解決型の学びに取り組む「シブヤ未来科」を拡充させるほか、バーチャル空間も活用し不登校支援を強化します。治安・防犯対策では、青色防犯灯付きパトロール車や徒歩による巡回により、犯罪抑止や児童の安全確保、路上飲み等の各種迷惑行為防止を更に進めます。
自由民主党議員団は、「安心して住み続けられるまち・渋谷」の構築に、本年も全力で取り組んで参ります。

立憲・国民渋谷議員団

区民と地域の思いを第一とした活動に邁進
一人ひとりが輝ける渋谷区のために

あけましておめでとうございます。立憲・国民渋谷議員団は、昨年の統一選挙後に立憲民主党、国民民主党、無所属の議員が集まって結成した新しい会派です。所属議員への日々のご支持、ご支援に心より御礼申し上げます。
令和5年当議員団は、熱中症対策、小中学校の安全対策などの緊急要請を区長に提出し、また、早急な給食費無償化の実現に向けた補正予算の組換え動議の提出など積極的な政策提案を行いました。一方で昨年は、澤田前副区長が区議を中傷した不適切な事案が発覚して辞職した事。公園新設改良事業が不明確な上、樹木が伐採された問題や、神南二丁目再開発事業など区民不在の区政運営に不信感を抱く声が多くありました。国際社会では戦争や気候変動の悪化も深刻で、円安や物価高騰が家計に大きな打撃となっています。今まさに、地方自治体は生活に直結した支援、施策を打つことが急務であり、区民の声に寄り添った思いやりのある区政運営が求められています。
立憲・国民渋谷議員団は、渋谷区の将来を見据えた街づくりを念頭におき、生活支援策や再開発事業に区民の声が反映される区政運営を強く求め、本年も区民の皆さまお一人おひとりが輝ける年となりますよう粉骨砕身努力して参ります。

シブヤを笑顔にする会

躍動の年！地域の活力を取り戻し、共生社会の実現と
みなさまの笑顔づくりに全力投球

あけましておめでとうございます。改選を経て、シブヤを笑顔にする会は、政党無所属6名で活動しております。
昨年は新型コロナが5類感染症に移行し、ようやく日常生活や地域行事も以前の活気を取り戻し始めた年でもありました。駒テラス西参道のオープンや笹塚・幡ヶ谷・本町・初台地域でのまちづくりワークショップの開催、青色防犯灯付きパトロール車ハチパトの巡回など、さらなる地域コミュニティの活性化や安全安心のまちづくりに取り組みました。福祉では、地域共生サポートセンター〈結(ゆい)・渋谷〉の開設、福祉なんでも相談窓口、地域包括支援センターでの障がい者相談の開始によって、区内の福祉資源を最大限活用し、複合的な困りごとを解決する体制が実現しました。
本年は、千駄ヶ谷区民複合施設や、渋谷区初の重症心身障がい者・児の通所施設である神宮前三丁目障がい者施設の開設など、さらに地域福祉が充実します。また、未来の学校プロジェクト始動に向け、仮設校舎建設が始まる他、けやき教室が文化総合センター大和田へ移転。給食費の無償化も実施され、教育環境も前進します。
シブヤを笑顔にする会は、誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現に向けて、本年も全力で取り組んでまいります。

渋谷区議会公明党

物価高騰対策など区政の課題に全力で取り組み、
区民福祉・区民サービスの向上へ邁進します

新年明けましておめでとうございます。
昨年も皆様よりあたたかいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
我が会派は長期にわたり国民生活や中小企業などに大きな影響を及ぼしている物価高騰など、現場の声を区政に繋ぎ、「プレミアムデジタル商品券の販売」、「学校給食費の値上げ回避」、「ハチペイ30%還元キャンペーン第二弾」など区民と中小事業者や区内店舗等への支援拡大を講じてきました。また長年取組んできた給食費無償化については、来年度より区立小中学校に加え、都立特別支援学校へも範囲を広げ、実施に向けた準備が始まり、区長の英断を高く評価いたします。
これまで我が会派が重点課題として取組んできた「重層的支援体制」が子育て、教育、福祉分野で連携が強化され、「福祉なんでも相談窓口」が開設。更に地域に根差した「巡回型なんでも相談」の開始で寄り添う支援が拡充しました。安全対策においては「ハチパト」が区内全域を巡回。防犯強化と安全・安心が大前進しました。今後も更なる経済負担軽減策を進め、物価高騰対策の拡充に努めて参ります。
これからも公明党は「ひとりの声を大切に」更なる区民サービスの充実に努め、皆様の声を区政に反映して参ります。

日本共産党渋谷区議会議員団

区民が希望を持てるよう、物価高騰からくらしと営業
を守り、福祉・教育優先で住民が主人公の区政実現を

新年あけましておめでとうございます。
日本共産党区議団は、パレスチナ・ガザ地区での人道的停戦や、賃金の大幅引き上げとともに、物価高騰からくらしと営業を守り、区民の声が届く区政実現に全力をあげています。みなさんとともに求めてきた給食費の無償化は、4月から区立小中学校と都立特別支援学校で実現します。
長谷部区政は、玉川上水旧水路緑道再整備に100億円も投入しようとする一方、敬老祝い金を削減し、国民健康保険料は20年連続で値上げしようとしています。また、神南小学校をはじめ区立小中学校の建て替え計画については、住民に説明もせず、意見・要望も聞こうとしていません。
党区議団は、物価高騰に苦しむ区民と中小業者への区独自支援の実施、敬老祝い金の継続、介護保険料・国保料の値上げを許さず、私立・国立を含めた学校給食の無償化、少人数学級、保育の質の向上、特養老人ホームの待機者ゼロ、若者と子育て世帯への家賃補助の復活など、1,444億円の基金を活用して、くらし、福祉、教育、子育て支援の充実など、住民が主人公の区政実現に全力をあげます。
さらに、国に消費税減税と軍事費削減を求めるなど、みなさんが希望の持てる年となるよう力を尽くします。

日本維新の会渋谷区議団

「一人ひとりが主人公」誰にとっても安心安全な渋谷
を目指し、更なる区民福祉とサービスに尽力します

あけましておめでとうございます。
会派を結成した昨年、区民の皆様からのご支援、ご指導ご鞭撻を賜り心より御礼申し上げます。次世代への投資と身を切る改革を掲げて議席をお預けいただき、多様な分野に取り組んでまいりました。
本年から、日本維新の会が全国的に目指してきた公立小中学校給食費の無償化が、渋谷区内区立小中学校でも実現できるようです。未来の学校づくり、子育て世帯への支援等次世代に必要なサービスの充実に努めてまいります。福祉においては重層的支援体制が始動し、より幅広いニーズにお応えできるよう取り組んでおります。一方で、アウトリーチ型の支援の充実や、民生委員のあり方等、担い手の問題課題もあり、支援を必要とする方々に寄り添うべく動向を注視してまいります。未だ開発著しい当区では、神南2丁目・宇田川町地区、玉川上水旧水路緑道をはじめ、皆様の声にきちんと向き合っているかをしっかりと見極めてまいります。また、開業した渋谷サクラステージや駒テラス西参道等新しい施設へもぜひ足をお運びください。
日本維新の会渋谷区議団は、区民の皆様の声に寄り添い、税金の使われ方を検証しながら全力を尽くしてまいります。

次回定例会のお知らせ
●令和6年第1回定例会は、2月20日から開かれる予定です。
主に、令和6年度各会計予算が審議されます。
本会議は、初日と2日目、3日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。



あけましておめでとうございます
今回は、第4回定例会の内容を中心に掲載しました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。本年もよろしくお願いたします。
■区議会事務局調査係
TEL 03-3463-1096 FAX 03-5458-4939
メールアドレス div-kugikai@shibuya.tokyo

